

東濃社会教育だより No.4

-子ども会・CSと地域学校協働活動編-



恵那県事務所
振興防災課 振興防災係
社会教育担当:長瀬
〒509-7203
恵那市長島町正家後田 1067-71
TEL:0573-26-1111 内線 208

令和元年度小学生リーダー（インリーダー）研修会の様子から 中津川市子ども会育成指導者連絡協議会

7月13日（土）福岡公民館にて、小学生リーダー（インリーダー）研修会が開催されました。中津川市子ども会育成指導者連絡協議会は、毎年、この時期に研修会を計画しており、今回は、市内9校26名の児童が参加しました。



KYT（キケン予知トレーニング）の様子から

【小学生インリーダー 研修会の研修内容】

- 9:30 開会式
- 9:50 プチゲーム（したしむ）
KYT（キケンのはなし）
- 10:25 室内ゲーム
（楽しくおぼえよう）
- 11:25 集合写真
- 11:30 昼食づくり
- 12:25 昼食
- 13:30 後片付け
- 14:00 思い出づくり
- 15:00 解散

子ども会育成指導者からは、KYT（キケン予知トレーニング）の説明があり、下校途中の絵を見て「どのような危険が潜んでいるか」について話し合いました。また、シニアリーダーとジュニアリーダーが計画した「やおや」や「トムジェリー」のゲームでは、手拍子をしたり、「がんばれー」と大きな声をかけたりして盛り上がりました。どの子も楽しみながら、「仲間と協力する大切さ」や「仲間を思いやる気持ち」、「リーダーとして必要な資質」など、多くのことを学びました。



ゲーム説明の様子



全員そろって記念撮影

【参加者の声から】

- 楽しみながら頭を使って考えることができるゲームを考えた。また、小学生が多いので体を動かして楽しめるように考えた。（シニアリーダー）
- ジュニアリーダーは、続けられるところまで続けたい。（ジュニアリーダー）
- お兄ちゃんに誘われて参加した。とても楽しかったので、来年も参加したい。（小学生）
- はじめて会う子が多かったけど、ゲームやカレー作りで仲良くなれた。（小学生）

地域学校協働活動推進員研修会（2回目）の様子から

県と岐阜大学が共同で運営する「ぎふ地域学校協働活動センター」による研修会の2回目が開催されました。

この研修の目的は、「地域学校協働活動推進員等の職務に係る知識・技能の習得及び事業推進に向けた資質の向上」です。今回は、より実践的な研修にするために、推進員として、学校と地域の協働活動を推進するにあたり、様々なプログラムを企画したり、立案したりする大切なポイントを分かりやすく説明していただくことができました。

日時：7月25日（木）

場所：恵那総合庁舎

講師：岡山市教育委員会生涯学習部
生涯学習課公民館復興室主査

内田 光俊 氏

内容：地域学校協働活動の企画・立案
手法を学ぶ



研修会の様子

【子どもたちのための地域づくりで大切な考え方】

内田氏の講話より

- 達成すべき目的を、地域での具体的な子どもや当事者のくらしや活動の姿として語ろう。
- 大切な持続可能で包括的な地域づくりとは、SDGs（世界を変えるための17の項目）の「誰一人取り残さない」観点が大切。

後期の受講者の募集は、8月末から9月にかけて始まる予定です。

瑞浪市 PTA 連合会教育講演・懇談会が行われました



講演・懇談会の様子

日時：7月23日（火）

場所：瑞浪市文化センター

講師：岐阜聖徳学園大学 教育学部

教授 水川和彦 氏

演題：学校には未来の風が吹いている

～地域・学校協働のハイブリッドシステムを
生かした教育～

瑞浪市 PTA 連合会は、毎年、この時期に教育講演・懇談会を開催しています。市内の小中学校の PTA 会長をはじめ、PTA 会員、校長先生や教頭先生等、80名近くの参加者がありました。

水川氏からは、この3月まで、義務教育学校白川村立白川郷学園の校長として、地域と協働のもと推進してきた学校づくりについて講話をいただきました。

【講演内容の抜粋】

- ・白川郷学園の7不思議
- ・今後、子どもたちが生きる未来
- ・7年間で技術革新は産業構造を変える
- ・子どもたちに求められる「未来をつくっていく能力」を考える

【参加者の声】

- ・地域の人から、学校では教えることができない匠の技や生き方を学ぶことは、これから未知の世界を生き抜く子どもたちにとって必要なことと改めて実感した。
- ・白川郷学園の「村民学」に興味をもった。